

A horizontal banner featuring a background of several pink, spiky flowers, possibly from the Asteraceae family, set against a soft, out-of-focus blue background. The flowers are in various stages of bloom, with some showing more defined petals and others appearing as clusters of fine, radiating filaments. The overall aesthetic is clean and naturalistic.

「高山右近研究室・久保田」のようす



「高山右近研究室・久保田」へようこそ！

表札額の文字は、妻（忠子）の書。

一室をこのためにあてて、ここに来れば、高山右近に関することはすべてわかるような部屋にしています。

高山右近や、関連のクリシタン達に関する本、写真、コピー、拓本、ポスター、Tシャツ、看板、フィギュア、人面石・・・など、高山右近に関する、集められるものはすべて、そろっていますよ。

高山右近のことで疑問が起これば、この部屋に来れば、大体のことは解決してしまうんですよ。



「高山右近像」台座の石

わが家の入口のチャイムを押す前に、足もとに目を向けてください。

大阪・玉造の聖マリア大聖堂から小豆島に移された「高山右近像」の台座のまわりを囲んでいたみかげ石です。

小豆島に移すにあたって、右近像が取りはずされ、富山県高岡市にある竹中製作所で化粧直しをしましたが、その時に処分されるはずだった台座の石を、「高山右近研究室・久保田」にいただいたんですよ。

(大) 113×27×12 (cm)

(小) 104×16×12



「高山右近像」の銘板と丁髷(ちょんまげ)

玄関では、「高山右近像」の銘板と丁髷が迎えてくれますよ。

高槻の城跡公園にある「高山右近像」の銘板と同じ物を実物大(横21cm×縦48cm×彫りの深さ4mm)で作りたいと思って、実際にあの像を鑄造された、高岡市の高岡銅器(竹中製作所)にお願いしました。

木型代	11,000円
鑄造仕上げ費	28,000円
荷造・送料	2,000円
計	41,000円

左側に並んでいるのが木型です。これがあれば、3万円で追加注文できます。

丁髷は、8,000円でした。



「高山右近研究室・久保田」の入口

二階への階段を上がっていただくと、そこが研究室の入口です。

「磔刑の御顔に差すは春の日か」
俳句の記された石の置物の前で、祈っている子ども。

大阪府茨木市下音羽の大神家の子ども達
金沢の殉愛キリスト教会の子ども
皆さんを「高山右近研究室・久保田」に迎え、案内してくれるのは、子ども達です。

「まことに、あなたがたに告げます。
あなたがたも悔い改めて、子どもにならない限り、決して天の御国（天国）には、入れません。」

（聖書 マタイ18：3）



「高山右近研究室・久保田」は和室

「高山右近研究室・久保田」は、畳敷きの和室です。座って、じっくりご覧になってください。

いくつかの写真額がうつっていますが、皆さんは、高山右近さんのことを、どの程度ご存じの方なのでしょうか？

大阪・玉造にある聖マリア大聖堂の「高山右近像」「細川ガラシア像」（堂本印象・画）、フィリピン・ケソン市ノバリチェスにある修道院の墓地、金沢の立像寺に残された「右近灯籠」、右近・作の茶杓「御坊へ花十（クルス）」などが、並んでいますよ。

Tシャツ・看板・ポスター

「高山右近」のTシャツは、1998年2月26日～3月2日まで、「高山右近を訪ねる日比親善交流の旅」の時のもの。サント・トーマス大学で「高山右近国際シンポジウム」がもたれました。

金沢で高山右近のことをよく研究してくださっている山縣実牧師（殉愛キリスト教会）は、毎日、右近のことなどを歌った賛美歌を作り続けておられますが、「二万曲記念コンサート」（2005.11.23）の時のものを、いただきました。私も、リコーダーを吹かせていただきました。

2003年7月4日。日比合作オペラ「高山右近」が、高槻で公演されました。（台本・石多エドワード、作曲・マヌエル・マランバ）





天井には拓本いろいろ

目を上げて、天井をご覧になってください

。ほかでは見られない「高山右近研究室・久保田」の目玉展示物といってもいいかもしれませんね。高山右近、そして細川ガラシアさんに関係ある場所に建てられている碑の、拓本群です。

すべて「久保田式拓本」で採取したものです。その方法は、

鉛筆で和紙に、こすり出すで、碑の文字の輪郭を写しとります。

コピーしたものをつなぎ合わせて、実物大にします。

文字部分を黒マジックで、塗りつぶしていった、出来上がり。

出来上がったものをコピーすれば、何枚でも作ることができますよ。



実物大の迫力

拓本は、もち論、すべて実物大ですから、写真では味わえない、迫力と臨場感がありますよ。

天井にはりめぐらされている拓本は、

- 「**+**高山右近生誕之地」
- 「高山右近受洗之地」
- 「史蹟 沢城址」
- 「城山城址」(芥川城)
- 「高槻城跡」
- 「高山右近」
- 「**+**高山ユスタ夫人出生之地」
- 「高山右近天主教会堂址」
- 「セナリヨ趾」(安土)
- 「旧 東内惣構堀」(金沢)
- 「越中井 細川忠興夫人殉節之遺址」
- 「散利奴遍喜・・・・」(細川ガラシア・辞世の歌)



「高山右近研究室・久保田」は
「祈りの部屋」

高山右近にとって、茶室が、「静まる場所・祈りの部屋」であったように、「高山右近研究室・久保田」は、格好の「祈りの部屋」でもあるんですよ。

資料を調べたり、聖書を読んだり、祈ったり、リコーダーを吹いたり……。デウス（主なる神）や右近さん自身を身近に覚えることができ、すてきな空間と時間を体験することができますよ。



右近椿、右近ゆかりの地の小石

高山右近が、九州の博多で、自ら植えたといわれている「右近椿」の板を、釈迦院時雄さん（石川県珠洲市）から山縣実牧師がいただかれ、その一枚をプレゼントしていただきました。

高山右近ゆかりの地を訪れた時には、その場所の小石を一つ拾ってくることにしています。卓上の皿の上には置かれているのは、フィリピン・ケソン市ノバリチェスの修道院の墓地で拾ってきたものです。ほかに「セミナリヨ趾」「安土・高山右近屋敷跡」「大坂教会跡」「小豆島・高山右近潜伏の地」「高岡城」「茨木・郡山城」「芥川城」など。



右近研究関係の本

右近研究の資料となる本は、これですべてではありませんが、手持ちのものは、ご覧の通り、それほど多くはありません。貴重なものは、今では手に入りません。古書店でも、めったにお目にかかりません。

ただ、ありがたいことに、高槻市には5つの図書館があり、「高山右近関係」「キリシタン関係」の本を結構集めてくださっていて、書庫本として、きちり管理してくださっていますし、コピーもできますので、大いに利用させていただいています。



「キリシタン墓地」「マリア十五玄義図」

江戸時代の、250年にわたる、徹底した「キリシタン大禁教」のため、高山右近やキリシタン関係のものは、跡形もないほどに、破壊され、葬り去られてしまいましたから、かつて高山右近が高槻城主だった頃は、領民の70%がキリシタンだった高槻でも、関係のものは、皆無に等しい状態です。特に、高槻藩は譜代大名の永井氏でしたから、特別に厳しかったようです。

そのような中でも、大正8年(1919年)から昭和5年(1930年)にかけて、高山右近領だった茨木市の千提寺や下音羽で「マリア十五玄義図」「聖フランシスコ・ザビエル画像」などの、貴重なキリシタン遺物が、発見されましたし、1998年6月には、高槻城内の、高山右近時代の教会隣接の「キリシタン墓地」が発掘され、十字架が墨書された棺や遺体、ロザリオなどが発見されました。



紙芝居「高山右近」

高槻・手作り絵本サークル「いろえんぴつ」の皆さんで、素晴らしい「高山右近」の紙芝居を作ってくださいましたよ。

（切り絵は岡本紘子さん、文章は堤久重さんが中心になって）

高槻の5つの図書館にあって、見ることができますよ。貸し出しを希望される方は、当研究室まで。

次の言葉で、紙芝居をしめくくってくださいています。

「この高槻の地に、福祉の行き届いた、思いやりで満ちた理想郷を築こうと努力した高山右近の名を、私たち高槻市民はいつまでも語り継いでいきたいと思ひます。」

卓上スタンドグラス「Justo」



「壁画工房101」の田ヶ原弘さん（信楽在住、大津福音自由教会）に、「Justo」の卓上スタンドグラスを作っていただきました。

ガラス部分は濃いめの青で、右近のきよさと、マニラに追われていく海の青を表現していただきました。

高山右近は、ローマのイエズス会総長にあてて、金沢時代にしたポルトガル語の手紙に、自ら、「Tacayama Justo」とサインしています。

「Justo」というのはポルトガル語で、「ジュスト」と発音して、「正義」という意味です。男性形が「Justo」で、女性形が「Justa」。右近の妻の霊名が「ジュスタ」でしたね。

Justo	=	Justa	=	正義
ジュスト		ジュスタ		
(男性形)		(女性形)		



人面石「高山右近」

右向きの横顔ですが、皆さんにはどのように見えるでしょうか。

高山右近の「人面石」を見つけたいと思って、2007年5月3日、新緑の芥川城址に登った帰りに、芥川の河原を捜してみました。そう簡単にあるものではありませんでしたが・・・・・・・・。やっぱりダメかと帰りかけた時、この石が、「ここにいるよ！」と、声をかけてきてくれたのでした。



フィギュア「高山右近」

長崎にある「奎（けい）書店」から、毎回、古書目録を送ってくださっていますが、その中に、フィギュアの「高山右近」を見つけましたので、早速注文いたしました。

どのような仕上がりか、実物を見るまでは半信半疑でしたが、送られてきたものは、なかなかのもので、キリシタン武将としての、右近の人柄がよく表現されていました。

わが手のひらの上の、高山右近！

高さ 8 cm フルメタル

デルプラド社 製品

Del Prado Japan, 2002



Tシャツ「高山右近」

夏シャツの「高山右近」 妻の筆
妻が、「高山右近マニラツアー」(2006.4.21~24)のために、Tシャツを作ってプレゼントしてくれました。毛筆で「高山右近」と書いたものと、右近さんもマニラまで船旅をした海の波をあしらったものを、パソコンでプリントし(こんなこともできるんですね。)それを白地のTシャツにアイロンでうつしとって、世界にただ一枚の「高山右近」Tシャツを作ってくれました。

私はそれを、これほど今回の旅にふさわしいものはないと思って、右近さんゆかりの場所を、このTシャツを着て巡って行きました。



高山右近 - 高山からマニラまで -

高山右近に関心をもって、「高山右近研究室・久保田」を訪ねてくださった方に、その生涯がひと目でわかるように、高山からマニラまでの、おもだった写真と説明を、一つの大額にまとめています。このホームページの最初に紹介しているものです。

講演会や、高山右近関係の展示が必要な時には、少し荷物にはなりますが、これ一つを持っていけば、皆さんによくわかっていただけますので、重宝しています。



写真やコピーは整理ケースに

衣類などの整理に使われる収納ケースですが、「高山右近研究室・久保田」では、その中には、写真やネガ、諸種の文献のコピーなどがおさめられています。

必要な時に、すぐ取り出せるというのが本当の整理だと思いますが、そのためには、関係のあるもの毎に、大型封筒にまとめておいたり、簡単な目録を作っておいたりしておかないと、せっかくの資料も、いざという時には、何の役にも立たないということになってしまいますよね。



このような生き方は、如何（いかん）？

一番奥の横額の右側のものは、高山右近が、長崎からマニラへ追放・船出する一か月前に、小倉城主だった親友・細川忠興（ガラシアの夫）にあてた手紙です。

是八南海二趣、命懸天名ヲ流、如何
私はまもなく、南海に向かい、命を天（の神）に懸けて、名を流すばかりです。このような生き方を、如何、どう思われますか。

高山右近の生き方を、如何、あなたはどうか思われますか？



② Be Ukon !

「高山右近研究室・久保田」は、いかがでしたか。

高山右近やキリシタン達の生き方に、今の私たちに欠けているものがあることを感じて、彼らから学んでいこうと思われたのではないのでしょうか。

私は、「現代に生きる高槻の右近・現代に生きる摂津及び都地方の右近」でありたいと思って、高山右近に与えられた信仰と祝福を、継承していきたいと思っていますよ。

Be Ukon !